

請 願 第 1 5 号	平成27年2月24日受理
付 託 委 員 会	福祉常任委員会
件 名	認可外保育園の費用助成に関する件
紹 介 議 員	高 山 敏 朗 議員
請 願 要 旨	
<p>表題のとおり、認可外保育園の費用助成を請願いたします。</p> <p>現在、八千代市では待機児童数が把握できているだけでも100～150人と聞いています。ということは八千代市に登録していない・できない児童もいると思われ、その数は全国的にも多いと推察できます。</p> <p>その解決策として、近隣他市（船橋市・習志野市・佐倉市）も行っている認可外保育園の活用を提案します。</p> <p>現在の認可保育園の受け入れも八千代市のホームページを見ると常に満杯であり、需要と供給のバランスがとれておりません。しかし八千代市の現況から認可保育園の設立には時間も手間もかかり、即効性のある対応は難しいと思われれます。そこで民間の力を最大限活用する認可外保育園の設立を促し、利用する市民へ助成することにより、待機児童数を減らし、女性の就業をふやすことができると思います。</p> <p>（認可外保育園の費用助成によるメリット）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 民間の企業が参入できる糸口ができる。 <ul style="list-style-type: none"> →空きテナントの活用及び法人税収入による八千代市の収入アップ →保育士などの雇用の創出 2 女性の働くチカラの創出 <ul style="list-style-type: none"> →出産による女性の専門化を防ぎ、また選択できる環境を与えることにより女性の働くチカラを企業が活用できる。 <p>（認可外保育園の費用助成によるデメリット）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 助成費用の捻出 <ul style="list-style-type: none"> →現在の八千代市の財政状況から見て、捻出はかなり厳しいと考えます。しかし中・長期的に見ると、将来の財政確保になり得る法人税収入や就労による所得税収入、その他の消費による収入に「投資」が必要だと考えます。 2 認可外保育園の質の確保とチェック <ul style="list-style-type: none"> →保育を受ける児童への事件・事故を未然に防ぐためにマニュアルの作成が必要となります。近隣では千葉市がその基準を示しております。また、しっかりとした基準をもとに認可外保育園を管理していくことにより民間の競争力を促し、保育児童や保護者などの満足度を向上させることができると考え 	

ます。

(近隣他市の助成概要)

[佐倉市]

認可保育園に通園した場合に支払うことになる保育料月額を差し引いた差額の3分の1（上限3歳未満児は15,000円、3歳以上児は5,000円）

[習志野市]

市が定めた公立保育所の保育料との差額（上限40,000円）

[船橋市]

負担した費用の2分の1（上限3歳未満22,000円、3歳以上9,000円）

今回2014年の市議会議員選挙の選挙公報を見ると、立候補者37名中24名が「子育て環境の充実」をうたい、その中で現職議員28名中19名が当選しております。ということは多くの市民が待機児童の解消を望んでおり、現職議員も負託を受けているものと判断できます。

以上より、以下について求めます。

記

1. 認可外保育園の費用助成の実施を求めます。